

第2学年 学級活動指導案

指導者 給前 竜二 田島 法之 川路 智治
箕輪真由美 細貝 則子

- 1 題材 思い出に残る宿泊学習にしよう
 (2) 個人及び社会の一員としての在り方, 学業生活の充実及び健康や安全に関する
 こと
 ア 青年期の理解, 自己の個性の理解, 個人的な不安や悩みの解消, 健全な生き方
 の探求, 望ましい人間関係の確立など

2 題材設定の理由(第2学年生徒 計81名)

本校では, 第1学年で, 1泊2日の白浜での宿泊学習と2泊3日の福島県でのスキー宿泊学習, 第2学年では1泊2日の鎌倉・東京方面の宿泊学習, 第3学年では奈良・京都方面への2泊3日の修学旅行を実施している。生徒同士, 生徒と教師相互の人間関係を深めるために旅行・集団宿泊的行事は大きな意義があると考え, 毎年実施している。

第2学年では, 鎌倉や東京の歴史や文化に触れることはもちろんであるが, 同時に, 班別自由行動を中心とした生徒主体の活動を中心に行うことで, 生徒一人一人の興味や関心, 生徒の自主性や協力性を深め, 生徒の自己指導能力を育成することができると考える。

鎌倉や東京での班別自由行動でのルートを自分たちで考え, 決定していく中で自己決定の場を与え, 班員それぞれの能力や適正を考えて係(班長, 会計, 保健, 風呂・清掃)の仕事を務めさせることで自己存在感を, さらに見知らぬ土地でのバスや電車を利用しながらの活動計画を立て, 協力しながら2日間の行動を共にし, 活動のまとめを行っていく中で, 班のメンバーとの共感的な人間関係やクラスメイトとの絆を一層深めることができると考える。

この活動を通して, 1人1人が自分の役割に責任を持ち, 友達と協力しながら活動することができたという満足感と充実感を味わうことで, 生徒の自己指導能力を高めることができると考え, 本題材を設定した。

3 指導計画

月 日	曜	活 動 内 容	活動時間
4 / 16	月	・実行委員会①	昼休み
4 / 18	水	・実行委員会② ・宿泊学習オリエンテーション①(概要説明) ・班のメンバー決定	昼休み 総合的な学習の 時間(5,6校時)
4 / 23	月	・実行委員会③	昼休み
4 / 24	火	・班別自由行動計画(鎌倉)	学級活動
4 / 25	水	・班別自由行動計画(鎌倉)	学級活動
5 / 2	水	・班別自由行動計画(東京)	総合的な学習の 時間(5,6校時)
5 / 11	金	・実行委員会④(しおり完成)	昼休み
5 / 15	火	・実行委員会⑤	昼休み
5 / 16	水	・宿泊学習オリエンテーション② (日程の詳細の確認, 各係最終打ち合わせ)	総合的な学習の 時間(5,6校時)
5/17・18	木 金	・鎌倉・東京方面宿泊学習(1泊2日)	学校行事
5 / 21	月	・宿泊学習の感想記入	授業(国語)
5 / 23	水	・新聞作り①(活動のまとめ)	総合的な学習の 時間(5,6校時)
5 / 30	水	・新聞作り②(活動のまとめ)	総合的な学習の 時間(5,6校時)
6 / 6	水	・新聞作り③(活動のまとめ)	総合的な学習の 時間(5,6校時)
6 / 13	水	・新聞作り④(活動のまとめ)	総合的な学習の 時間(5,6校時)
6 / 19	火	・新聞作り⑤(活動のまとめ)	総合的な学習の 時間(5,6校時)
7 / 4	水	・新聞発表会 ・アンケートの実施	総合的な学習の 時間(5,6校時)

4 本時の指導

(1) ねらい

- 班別自由行動の体験をパソコンを使って新聞にまとめることができる。
- 班別自由行動を行っての感想や、宿泊学習の感想を壁新聞にまとめることができる。

(2) 資料・準備 パソコン、模造紙、マジックペン

(3) 展開

	活 動 ・ 内 容	資料準備	教 師 の 支 援 ・ 評 価
活 動 の 開 始	1 本日の活動ルについての確認を行う。 宿泊学習の体験や感想を班のメンバーと協力しながら新聞にまとめよう。 ・ 活動場所 パソコン新聞・・・P C ルーム 壁新聞・・・図書室及び教室 ・ 活動内容 パソコン新聞や壁新聞を班のメンバーと協力しながらまとめる。		・ 2時間の活動時間の流れを説明し、本時の活動についての理解をさせる。 ○ 5校時・・・1組が壁新聞作り 2組がパソコン新聞作り ○ 6校時・・・2組が壁新聞作り 1組がパソコン新聞作り ・ 班のメンバーでパソコンに入力するのが得意な生徒には入力をさせたり、絵が得意な生徒にはさし絵などを壁新聞に描かせるようにして生徒の長所を発揮させるように指示をする。
活 動 の 展 開	2 1組は図書室と教室に別れて壁新聞作りにかかる。2組はP C ルームでパソコン新聞作りにかかる。 ・ 班のメンバー ・ 班別自由行動のルート ・ 見学地や宿泊学習の感想 ・ 行動中のハプニング ・ さし絵や写真 など	パソコン 模造紙 マジックペン	・ パソコン新聞では、何もしないで見ている生徒がいないように入力する生徒や感想をまとめる生徒、必要な資料をプリントアウトしたり、インターネットで開いたりする生徒など、役割を分担させるようにする。 ・ 壁新聞では、字の上手な生徒には清書をさせ、その他の生徒には原稿をまとめさせたり、さし絵を描かせたり、色塗りを行わせたりしながら、班で仕事を分担させるようにする。
活 動 の ま と め	3 次時の活動（班別の発表会）について話し合う。		・ 次時（7月4日）に新聞を使って発表会を行うことを知らせ、班ごとにどのような分担で発表するかを話し合わせるように指示をする。その際に必ず班全員が発表する機会を持つように話し合わせる。 評 班のメンバーで協力しながら新聞を作成することができたか。 <観察>

5 事後の指導と生徒の活動

- 宿泊学習の計画からまとめまでの活動を通して、生徒の自己指導能力（自己決定力、自己存在感、共感的な人間関係）が高まったかをアンケートの結果から考察する。
- 宿泊学習の感想から、生徒の変容の様子をとらえるとともに、感想を教室内に掲示したり、学級通信等で紹介したりすることで、活動への満足感や充実感を高める。